

解説！福祉用具の選び方・使い方

5～6月は大規模な福祉用具展示会が相次いで開催される。5月26～28日には名古屋市で3年ぶりに「ウェルフェア2022」が、6月8～10日には大阪市で「バリアフリー2022」の開

催が予定されている。この開催を記念し、本号では、理学療法士で高齢者生活福祉研究所所長の加島守氏に「福祉用具の選び方・使い方」を解説いただき、また各社の注目製品を紹介する。

特殊寝台

生活範囲から機種・機能を選択

特殊寝台を選ぶためには、まず利用者の生活範囲から考えてみましょう。例えば①1日のほとんどをベッド上で過ごす②食事や排泄はベッドから離れて行う③就寝時以外はベッドから離れて生活している——と分けてみます。

①1日のほとんどをベッド上で過ごす1人であれば、▽起き上がり動作を支援する背上げ機能▽ベッド上で食事しやすい姿勢をつくる背上げ機能とひざ上げ機能▽寝返りや側臥位での清拭、おむつ交換などの介助負担を軽減するサイドレール、ベッド用グリップ——などが必要になるでしょう。

②「食事や排泄はベッドから離れて行う」人には、離床時間をさらに延ばせる可能性があるかを探りましょう。例えば、「起居動作を支援するサイドレールやベッド用グリップは力が入る握りやすい形状であるものを選び、「車いすへの移乗介助の負担を減らすため、特殊寝台の昇降機能を使用する」などの支援で離床時間を延ばせるかも

しれません。離床後の、車いすなどでの姿勢保持や体圧分散にも目を配りましょう。

また、背上げ・脚上げ角度を調整して「セミフラー位」の姿勢をつくることで、寝ている時の腰の痛みを緩和できることがあります。

特殊寝台の機能は背上げ、脚上げ、昇降以外にも、▽背上げや脚上げと連動して、ベッドが傾き安楽な姿勢を

作ってくれる▽布団に近い感覚の超低床タイプ▽寝返り支援機能▽背上げ時に背中にかかる圧を軽減してくれる▽ヘッドレストが付いて、飲み込み時にむせにくくなる▽体位変換機能▽円背がある人向けにヘッドレストや背ボトムが分割されたハイバックサポート機能——などさまざまな機能があります。利用者の状態や生活に合ったものを選びましょう。

シーホネンス



「Emi」

価格：オープン
☎0120-20-1001

頭頸部を調節できる「電動ヘッドレスト機能」により、頭頸部0～30度屈曲の「ADLポジション」か、0～50度屈曲の「QOLポジション」を選択可能。介護事業者にBCP（事業継続計画）が求められる中、通常利用でもバッテリー充電し、停電時でも電動操作ができる災害対策機能でも注目される。

手すり

立ち上がり方に着目して選ぶ

居室用手すりは、床に置いて使う「据え置き型」と天井と床で突っ張る「突っ張り型」に大きく分けられます。

そのほか、突っ張り型の本にバータイプの手すりを横置きするなどの組み合わせや、据え置き型でも連結して使うことができるものがあります。工事不要で設置できるので、賃貸住宅などでも使えます。据え置き型は主に寝返りや起き上がり時、手すりに掴まることで起居動作の安定性を高めます。いすやソファ、布団からの立ち上がりを補助するタイプもあります。つかむ持ち手の形状が違ったり、複数の手すりを組み合わせたりとバリエーションも豊富です。

例えば「ハンダー（はしご）」型と「字型」の据え置き手すりでは「字型」のほうが、しっかりと手を伸ばして立ち上がりの重心移動がスムーズにできるでしょう。突っ張り型の手すりは上下の

重心移動を支援し、付属のグリップにより立ち座り時などさらにつかまりやすくなります。

またバー手すりを組み合わせると、壁がない場所での歩行支援にも役立ちます。手すりを選ぶ基本は、利用者が「普段どのように立ち上がっているか」を

確認することです。例えば、いすの座面を「押して」立ち上がっている場合は据え置き型、前方のテーブルを「引っ張って」立ち上がっている場合は突っ張り型が有効であると考えられます。そのほかにも、玄関用やトイレ用の手すりもあります。

シコク



「BS小桜」「BS小路」「Tサポmini」

価格：「BS小桜」10万1,200円、「BS小路」7万7,000円「Tサポmini」5万6,100円（いずれも税込）～☎0879-42-1111

狭小でコンパクトタイプでも設置できないところにも設置可能な手すりシリーズ。玄関向けの「BS小路（37×62cm）」のほか、ベランダなどに設置できる「BS小桜（40×62cm）」がある。また、トイレ向けの片手すり「Tサポmini（62×27cm）」もあり、住宅環境に合わせて自立支援を実現する。

床ずれ防止用具

選定前に床ずれリスクを確認しよう

床ずれ予防に役立つ代表的な福祉用具が、体圧分散性に優れたマットレスやエアマットレスといった「床ずれ防止用具」です。ウレタンやエア、両方を組み合わせたハイブリッドタイプなどが一般的です。

床ずれ防止用具は利用者の床ずれリスクに応じて選ぶことが重要です。床

ずれリスクを測るツールとして「OHスケール」などがあります。利用者の①寝返りができるかどうか②仙骨部の骨突出③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺の4項目から算出し、点数が高いほど大きな床ずれリスクを抱えていることになる。②の仙骨部の骨突出は、臀部を確認するのが難しい

場合は、太ももの最も太い部分の直径が31cm以下なら少なくともI・5点以上のリスクがあると判断できます。③浮腫を確認するには、足の甲を指でやさしく5秒間押しつけない。指を離してもへこんだまま戻らないようなら「浮腫あり」で3点です。あくまで目安ではありますが軽度（1～2点）を目

パラマウントベッド

「楽匠プラスシリーズ」



価格：オープン
☎0120-03-3648

従来の「楽匠シリーズ」の技術やこだわりを継承しつつ、▽背だけでなく骨盤も起こす背上げ機構▽アプリによるリモート介護の支援▽ボタン操作一つで自動点検——など、新たな機能や価値をプラス。音声によって操作できる機能も持つ。

プラッツ

「ヨカロ」



価格：オープン
☎092-584-3433

頭の角度を調整することで食事介助・口腔ケアをしやすくする「ハイバックサポート機能」（可動範囲30度まで）のほか、介助者の腰痛予防のため業界最高クラスの「床面高さ（最大78cm）」を実現した。本人や介助者の姿勢の最適な保持を通じて、快適で負担の少ない介護を実現している。

パナニックエイジフリー

「歩行サポート手すり スムーディ〈屋内用〉面手すり」



価格：8万1,400円（税込）
☎06-6908-8141

屋内各所で使える手すり「スムーズィ」の構成ユニット。面手すりを備え、玄関や寝室など床からの立ち上がりが必要な場所に向く。面に手をつくことで、プッシュアップ動作の際に腕に力を入れやすく、立ち上がり姿勢のバランスも保ちやすい。手すりとの面手すりの高さは、それぞれ調整できる。

フランスベッド

「マルチフィット手すり」



価格：5万8,850円～
☎0120-083-413

組み合わせで全118パターンの設置ができ、多様な身体状況や住環境に対応する。ベースは長方形、正方形、アーチ形。手すりもI・L・I-Wの3形状。材質は木のぬくもりのある木材とクッション性のある樹脂の2タイプ。高さは4段階に調節可能。ベッドに固定できる26パターン。

イノアックリビング

「ふわ・も」



価格：8,800円～（税込）
☎050-3135-8857

高密度のウレタンを4mm角に特殊加工した「ミクセルキューブ」（特許技術）を使用した体位変換器。ふわふわ、もっちりとした感触が特徴。ウレタンが内部で自由自在に動き、体を隙間なく支え、通気性にも優れる。体位変換に便利な持ち手が左右についており、持ち運びも簡単に行える。